

はじめに

私たち水環境地域ネットワーク (WFEN (Water Field ecology Network) 略称ウーフェン) は

1. 「身近な自然に触れ親しむ機会を提供する」
2. 「実際に自然環境の保護保全に取り組む」
3. 「将来にも続く仕組みを作る」

以上の3つの活動理念のもとにさまざまな取り組みを行っています。

私たちがこれまでの活動を通じて常に感じてきたことは、「身近な自然についての理解が少ない」ことです。

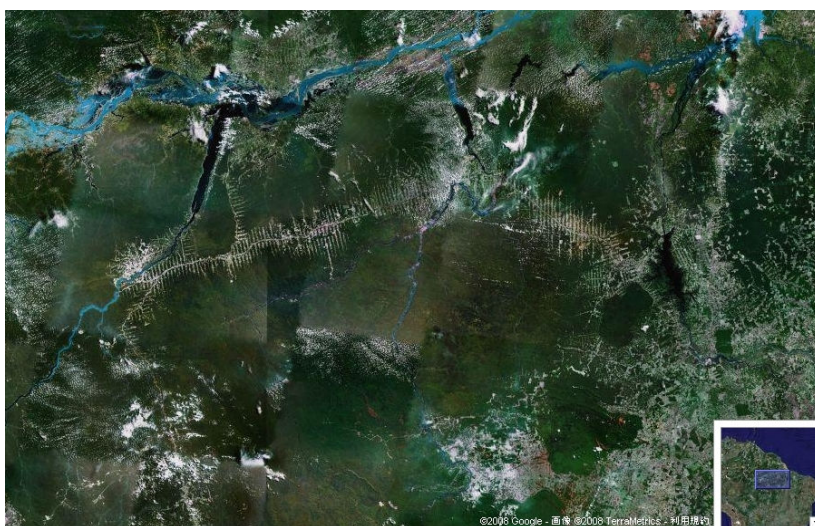
昨今、メディアでも「地球温暖化」にはじまり「氷河・氷山の減少」や「森林伐採の現状」などの環境変化が毎日のように報道されています。そのおかげか、市民の皆さんの環境変化に



に対する理解は大変高くなっていると思います。

しかし、報道される内容は象徴的で、私たちとは直接つながりのない遠くの場所で起きていることが多く、身近な場所で起こっている変化には目が向けられていないということに、危惧に近いものを感じていました。

←北極の白熊。絶滅が危惧されている。



←アマゾンの開発
(フィッシュボーン)
魚の骨のように伐採される
森林。大豆畑にされている。

珍しくて実際は見たこともない希少な生物の名前は報道などにより知っていても、自分たちの身近な生きものの名前を知らない。また、園芸植物はたくさん知っていても、

古くから歌に詠まれてきた植物が今も身近に存在していることはあまり知られていないのが現状ではないでしょうか。

遠くの環境変化と同じ速さで起こっている**身近な環境の変化をもっと知るべき**ではないのでしょうか。みなさんの意識が高くなっているだけに、常々「もったいない」と感じています。

今回の調査を通じて、**身近な自然や環境の保全について一緒に考えていきたい**と思います。